

平成29年度在宅療養あんしん病院登録システム利用状況調査結果（概要）

【目的】

在宅療養あんしん病院登録システムの登録者の入院等の利用状況、退院時カンファレンスの実施状況等を把握し、今後の本システムの改善を行い本システムへの満足度向上を図るとともに、今後の利用拡大に結びつける。

【調査方法】

- (1) 方式：アンケート方式
- (2) 対象：在宅療養あんしん病院 138病院
- (3) 評価期間：平成29年10月1日～11月30日

【利用状況調査結果】 ※有効回答数N=138病院

- (1) 利用実績等について（登録者数はH29.11.30時点）

入院利用実績のある病院数	登録者数 (49病院)	利用者数 (入院した人)	利用者の 平均年齢	利用者の 平均入院日数 (入院中を除く)	在宅チーム参加の退院時カンファレンス
49病院	9,709人	364人 (うち、かかりつけ医によるあんしん病院依頼は34人)	84.5歳	17.1日 (癌・心不全等を含む)	有 19.2% 無 80.8%

※（参考）全登録者数 14,166人

- ・利用実績を調べるにあたり、本システムを利用した入院かどうかの判断が困難であることから、登録者が入院した事例全てをカウントしている。

(2) 病院における地域連携担当者の取り組み状況

患者からの本システムに登録したいとの相談	有 62.3% 無 37.7%
登録者優先の入院調整	有 64.9% 無 35.1%

システム未登録者への紹介	有 36.0% 無 64.0%	
	無の場合の理由	
	①患者登録の手続きが煩雑 14.3% ②診療報酬上の位置づけや補助がない0.0%	
	③対象者像が不明確 16.9% ④入院対象となる状態の患者が少ない 22.1%	
	⑤既に他職種の連携体制が構築できている 22.1%	
	⑥患者の病院への依存度が高くなる 0.0%	
	⑦患者がシステム登録や活用を拒否 1.3% ⑧その他(*) 23.4%	
院内の周知状況	医師	よく周知されている 9.6% まあまあ周知されている 44.9% あまり周知されていない 39.7% 全く周知されていない 2.2% わからない 3.7%
	病棟師長	よく周知されている 14.7% まあまあ周知されている 41.2% あまり周知されていない 39.0% 全く周知されていない 2.2% わからない 2.9%
	医事部	よく周知されている 21.3% まあまあ周知されている 44.9% あまり周知されていない 30.9% 全く周知されていない 2.2% わからない 0.7%
うまく活用できた事例	有 10.9% (うち情報提供可は 4 病院) 無 89.1%	
利用者からの苦情	有 0.0% 無 100.0%	

(*) 患者退院時のシステム紹介を行わない理由が「その他」の場合の内容

- 登録の有無に関わらず、入院依頼があれば受け入れる方向で対応しているため。(3件)
- 転院する患者の割合が多く、本システムを活用できる患者があまりいないため。(2件)
- システム活用の意識が低いため。
- 本システムの制度を説明しても理解できない高齢者が多数おり、登録に繋げることが難しいため。
- 本システムへの登録はかかりつけ医に相談して頂いており、病院では積極的に行っていないため。

(3) 本システムに関する評価(自由意見)

- 本システムを利用して良かった点、退院時の連携が進んだ点
 - 患者に本システムを紹介すると、安心できるとの声があった。(4件)
 - 介護担当者等が記載され連携しやすいので良いシステムだと思う。(4件)
 - 入院患者が自宅に退院する際に当制度の説明をすると登録を検討する患者が多いので、セーフティネットの役割を果たしていると思う。
 - あんしん病院登録患者の入院要請の際、入院担当医を決めやすい。
 - 独居の患者にあんしん病院の登録を勧め、当院との繋がりができたと喜ばれた。
 - 主治医との意思疎通において、本システムは有効と考えている。
 - かかりつけ医の先生と患者情報を共有していることで、入退院時の連携がスムーズに行えている。
 - 土日や夜間帯に登録している患者の受け入れがスムーズに行えている。
 - 退院時にかかりつけ医の先生への紹介がスムーズに行える。
 - ケアマネジャー、かかりつけ医が把握できるので、入退院時の情報共有を行う際は有効である。

● 本システムの改善要望点

- 本システムを活用した入院について診療報酬上の評価があれば、なお良い。(4件)
- 本システムの登録有無や登録内容を入退院支援にうまく活かしている機関があれば、その方法を教えていただきたい。
- 受診歴のない方はカルテ番号も無いため、本システムに登録している方の管理が難しい。
- 今までの登録件数の推移や、制度を利用し入院した件数、具体的な事例などの統計があれば発表してほしい。
- 医療機関の連携が確立されつつあるためか、医師・看護師・ケアマネ等による登録への声掛けや意識が薄らいでいるように感じる。
- 登録病院の有無や診療状況等を、患者が把握・理解できるようになればと思う。
- 主治医からシステム登録を勧めるだけでなく、相談員等からも勧められる方法を考えて頂きたい。
- 本システムを利用した入院希望であることがわかりやすくなってほしい。
- インターネットへの入力時に、一括入力できる機能を加えて頂きたい。
- 高齢者の方でも申請しやすいようにして頂きたい。
- Google chrome でも利用できればありがたい。

以上